



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



今まで以上の『緊張感』をもって生活しましょう

～ GW明けから市内感染者（小・中学生も）が急増しています ～

12日に福岡県に緊急事態宣言が出されて、1週間が経とうとしています。県内で比較的感染者が少なかった北九州市でも、5月初旬とは比べられないほど毎日感染者が増えています。その中には小中学生も含まれており、休校した学校もあるそうです。



先週金曜日に配布したプリントでお知らせした通り、子どもたちの場合、ほぼ家族内感染ということですのでご家庭における予防が大きなカギを握っていると言えるでしょう。また、もし感染児童が出た場合、学校への影響という点では、「いつまで登校していたか」「いつ、誰とどのような接触をしていたかの把握ができていないか」

5つの行動目標

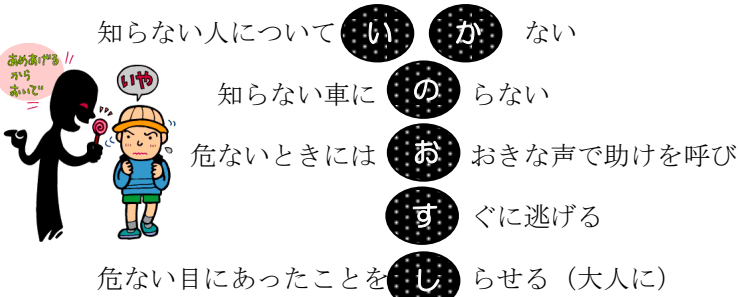


がポイントになっていて、ケースによっては休校措置になるようです。休校にならなくても、感染者と近い関係である子どもが濃厚接触者となると最低2週間は登校できません。

先週、全校放送で手洗いや消毒を一層がんばることや、放課後や休日の外出は家の人と相談して不要不急のもの以外は控えることなどを子どもたちに呼びかけました。保護者の皆様には、ぜひ子どもたちの行動について、リスクの高い接触の機会を減らしていただくとともに、その把握（記録）を確実に行っていただくようお願いいたします。報道等で、マスクを外す飲食の場面のリスクの大きさをたびたび耳にします。社会生活をしている以上、まったく人と関わらない、というのは無理ですが、リスクを回避する関わり方を徹底することは可能です。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、体調不良やPCR検査を受けたなどの情報について、早急に学校にお知らせしていただくよう常々お願いをしています。場合によっては、教育委員会コロナ対策本部に報告しなければならないからです。本校保護者の皆様からは、本当にすぐにお知らせしていただいております。感謝しています。詳しい情報が必要な場合には、細かくお聞かせいただくことがありますので、どうぞご理解ください。

新型コロナウイルス対策だけでなく「自分の命は自分で守る」意識と取組を



毎年のことですが、市内で不審者や不審車両の情報が多く入り、学校にも連絡があります。残念ながら、登下校は絶対に安心、とは言えない状況になっています。

本校の校区内にも、時間帯によっては人通りが少なくなる個所が見られます。学校での指導（いかのおすし）に加え、見守りボランティア「オレンジャー」の方々にもご協力いただいておりますが、何より、子どもたちの防犯意識の向上が欠かせません。



ご家庭においても、しっかり子どもたちと話をさせていただくとともに、危険な目にあった、と聞いたらすぐに110番をして、その後学校にご連絡くださいますようお願いいたします。一秒でも早い通報が事件を防ぐと思います。

方面別集団下校訓練をしました

先月30日に、恒例の「方面別集団下校訓練」を実施しました。もしや、の際に速やかに下校し、危機から逃れる行動力を身に付けることを目的としているものです。1年生の世話を6年生がきちんと行ったこともあり、本年度もスムーズに下校できました。

